



# Gâi aios & Dankie



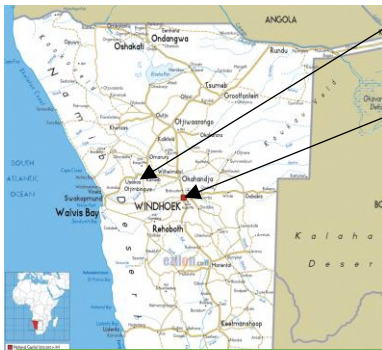
ナミビア通信 No.1 2017年 12月7日 青年海外協力隊 松原小夏

北陵中学校の皆さん、また青年海外協力隊の活動に関心を持ってくださる皆さん、こんにちは。大変ご無沙汰しております。2017年7月より、ここナミビアにて青年海外協力隊の小学校教育隊員として活動しています、松原です。ナミビアに来て既に半年が経ってしまいました。生活が落ち着いたので、これまでの活動を振り返り、皆さんにお伝えさせていただくことで、活動の改善につなげていきたいと思えます。日本で読んでくださる方には、いつもお世話になっているお礼の意味を込めて、元気な姿を伝えていくと共に、「へえ～そんなこともあるのね」と、お茶でも飲みながら息抜きに読んでいただければ幸いです。今更ながら少しずつ、私がナミビアで見たもの、したこと、感じたことを紹介させてください！通信のタイトルは、任地で使われているコエコエ語とアフリカンス語でそれぞれ、「カイアイオス」と「ダンキー」。「ありがとう」の意味です。

## <ウィンドフックでの1か月>

まず、日本を去って7月、何をしていたのか。首都 Windhoek(ウインドフック)にて、「首都訓練」を行っていました。語学の授業として、地元のいろいろな施設を見学したり、小学校で模擬授業をしたりしました。

任地(今いる所)=Usakos(ウサコス)首都から約 300km



首都 Windhoek(ウインドフック)



首都は大都会！危険も。

仲間と自炊。トマトソースの中には珍味「モパネワーム」(虫)です。



Mandume 小学校で算数。Profit と loss について。よく聞いてくれた。



Sunshine 小学校で図工。私立なので、教室掲示や設備が充実。規律がしっかりしていて、めっちゃ静かだった…

模擬授業をさせてもらうために、小学校の校長先生と電話で何度もやり取りをしたのですが、スムーズにいかないこともあり。余裕をもって計画を立て、繰り返し日程を確認することが大切だと学びました。しかし、いきなり現れたボランティアである私たちに、授業を一コマくれて、打ち合わせもほぼなしで、授業をさせてくれるということには驚きました。先生方も子どもたちも歓迎してくださり、とてもありがたかったです。

## <Usakos に来て>

そして、8月7日。ウサコスに赴任し、学校での活動が始まりました。



近所の丘から撮った任地。サバンナの中にある小さな町です



近所。買い物に行く道



地平線が海のように。大好きな景色。



家。大家さんの敷地の裏庭に住まわせてもらっています。

## <配属先 Erongosig Primary School, >

配属先はエロンゴサ・プライマリー・スクールという公立の小学校で、0～7年生まで全校児童 330 人です。7年生は日本でいう中学一年生くらいの年齢ですが、留年の制度があるので、各学年にいる児童の年齢には幅があります。本校に派遣される青年海外協力隊員は私でもう4代目なので、自然に受け入れていただき、先輩方の功績に支えられていることをひしひしと感じます。



体育館は予算がなくて未完成。コンクリート打ちっ放しの状態・・・



スタッフルーム。毎朝ここで打ち合わせがあります。日本のような「職員室」はなく、担任は教室に、管理職や秘書は自分のオフィスに机があります。

肝心の活動紹介ができませんでした。また次号！よろしくお付き合いください☆

